

自動販売機に関わる各場面にお客様に安全・安心をお届けしま

ジャパンビバレッジは、自動販売機の導入から商品選定、メンテナンス、そしてリサイクルまでの自動販売機の一生(ライフサイクル)の各場面で、1台ずつきちんと活躍できるよう、サポートしています。

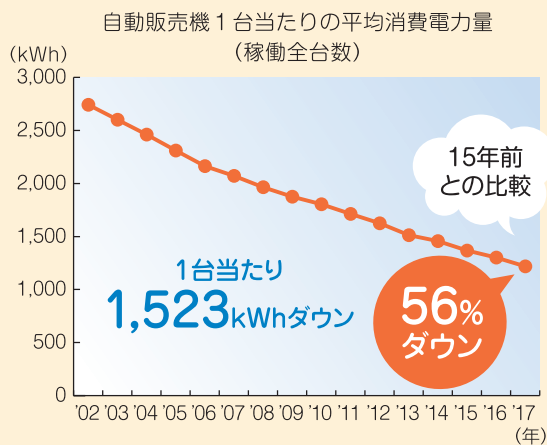
お客様に最適な
ご提案をします

自動販売機の導入

自動販売機の採用にあたっては、自動販売機メーカーと調整し当社仕様にしたものを導入しています。また、定期的にジャパンビバレッジオリジナルの機材を開発し市場展開を行っています。



環境面では、消費電力量の削減に取組み、目標値を掲げ環境負荷低減に取り組んでいます。



安心で美味しい商品を
提供します

商品選定・テストの実施

商品企画部門にて各メーカーの商品を選定します。カップ飲料の場合、新しい商品を展開する際には機材部門にて実際に自動販売機で販売する前に原料チェックを行います。販売時を想定し、溶解性、吐出量、味覚、微生物の確認を行い、問題が無いかどうか確認します。これによりお客様に安心していただける商品を提供致します。



吐出量の確認



微生物の確認



味覚の確認

担当者の声

自動販売機の導入から廃棄まで責任を持って取組みます。

機材部ではカップ飲料の適正試験を行い、動作確認並びに商品のクオリティーを最大限に引き出す設定データを追求しています。品質面においてもカップ自動販売機の微生物検査等を行い、稼働機の衛生管理状態を確認することでお客様に安心して飲料を購入いただけるように取り組んでいます。

また、自動販売機本体の取組みでは、オーバーホール整備の実施や部品のリユース、さらに廃棄自動販売機のリサイクル処理推奨など環境に配慮した運用をしています。自動販売機の導入から廃棄、いわゆる「川上」から「川下」まで責任を持って対処するよう日々心掛けています。

株式会社ジャパンビバレッジホールディングス 機材部 技術支援課 係長 山田 博之





お客様第一で
サービスを展開しています

オペレーション

ルートセールスが、自動販売機の商品の品揃え、清掃、空容器の回収等を行います。万が一の故障時は専門のメンテナンスが迅速に対応します。きめ細やかなサービス体制でお客様に安全・安心を提供します。



自動販売機を
大切に扱っています

オーバーホール

ジャパンビバレッジは定期的に自動販売機をオーバーホールしています。オーバーホールには、コンピ機はトータル12時間/台、カップ機は30時間/台をかけて仕上げます。このように自動販売機を1台1台丁寧に整備することに取り組んでいます。

オーバーホールの流れ



1 機械内及び整備箇所の確認



2 機械を分解し、機内部品を取り外した後、必要に応じて塗装



3 部品は定期交換、もしくは分解整備時に必要に応じて交換



4 自動販売機に機械・部品を全てセット。最後に稼働テストを行い完了

資源循環に
取り組んでいます

リサイクル

自動販売機は役目を終えて廃棄される際にはきちんと分別されリサイクルされます。廃棄物処理法に則り、適正に処理できる業者をお願いし可能な限りリサイクルします。



素材ごとに分別して
リサイクル

担当者の声 | 毎日のコミュニケーションを大切にしています。

毎日のオペレーション活動の中で大切にしているのはコミュニケーションです。カップ自動販売機は事業所内の設置が多く、お客様とお話できる機会も多いので、その際は新商品の紹介などをさせていただいています。この会話の中で様々なご意見や要望もいただくことがあり、例えば自動販売機の蛍光灯の消灯依頼などについては、随時対応させていただいております。

また、支店内ではミーティングを適宜行い、日々の業務で起こった事例、自動販売機の清掃のポイント等の情報を共有しています。今後も各場面でコミュニケーションをとり、より良いサービスを提供できるよう取り組んでまいります。

株式会社ジャパンビバレッジセントラル 磯子支店 ルートマネージャー 越石 優

